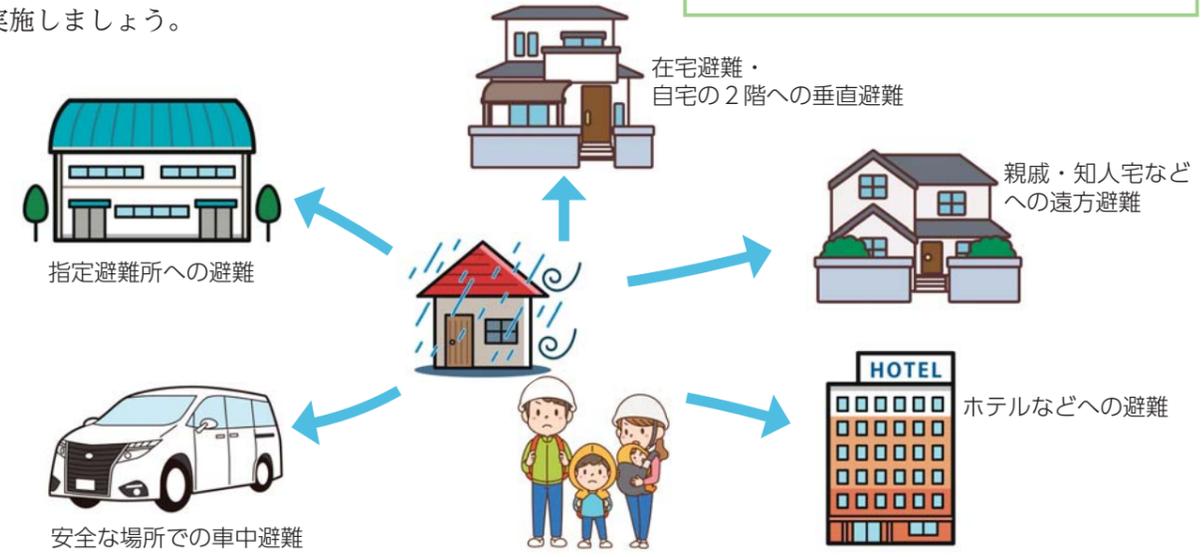




POINT 考えよう 避難先

災害が発生すれば、安全な場所への避難が必要になることもあります。
 多くの人が集まる避難所では、感染症対策を行っても感染リスクがゼロになることはありません。少しでも感染リスクを下げるため避難先を分散させる「分散避難」を実施しましょう。



マイ・タイムラインの作成を

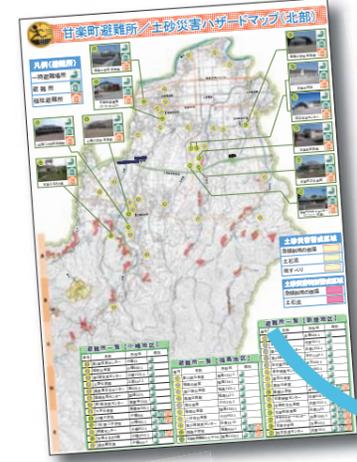
マイ・タイムラインは、個人の避難行動計画です。普段から災害時の行動を整理して一人一人の個別プランを作成することで、いざというときに自分や家族の命を守ることに繋がります。

—自分の命は自分で守る—
今日からできる災害への備え

■ 問い合わせ 総務課庶務係 ☎74-3131

POINT 確認しよう ハザードマップ

近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯など雨による災害が増えています。災害が発生したときは、慌てず行動するために普段からの備えと心構えが大切です。まずは自分の住んでいる地域にどのような危険があるのかをハザードマップなどで確認しておきましょう。



「甘楽町避難所／土砂災害ハザードマップ」は、町民カレンダーに掲載されています。

町民カレンダーを見てね



POINT 覚えよう 警戒レベル

水害や土砂災害などの発生する恐れがあるときに、その危険度を直感的に理解し、的確な避難行動がとれるよう「警戒レベル」が示されています。

警戒レベル5はすでに災害が発生しており命の危険がある状態です。なお、必ず発令される情報ではないことから警戒レベル4までに必ず避難することが必要です。

インターネットから情報収集を

▶ 気象庁 「あなたの街の防災情報」

◀ 河川防災情報サイト 「群馬県 かわみるぐんま」

POINT 備えよう 備蓄品

避難するときに持ち出す非常用持ち出し品や、自宅で避難生活を送る際の備蓄品を用意しましょう。食料や水、生活用品などは家族構成を考慮して最低3日分、できれば7日分用意することが理想といわれています。

ローリングストックの習慣を



普段から食品などを多めに買い置き、使いながら買い足し、常に一定の備蓄量を保つ方法です。

Check

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 飲料水
1人1日3ℓが目安 | <input type="checkbox"/> 食品
レトルト食品・缶詰・チョコレートなど |
| <input type="checkbox"/> 医療品・衛生用品
消毒薬・ばんそうこう・解熱剤・マスクなど | <input type="checkbox"/> 衣類・運動靴
雨具・下着・防寒着など |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯
すぐ手が届くところに | <input type="checkbox"/> ラジオ
小型で携帯できるもの |
| <input type="checkbox"/> 乾電池・充電器
電池は懐中電灯やラジオに使用するため多めに | <input type="checkbox"/> マッチ・ライター・ろうそく
取り扱いには注意して保管 |
| <input type="checkbox"/> 貴重品
現金(小銭)・保険証・印鑑・預金通帳など | <input type="checkbox"/> その他
各家庭に応じた必需品(ミルクなど)を準備 |

警戒レベル	状況	避難情報	取るべき行動
5	災害発生または切迫	緊急安全確保	命の危険。すぐに安全確保

— << 警戒レベル4までに必ず避難 >> —

4	災害のおそれが高い	避難指示	危険な場所から全員避難
3	災害のおそれがある	高齢者等避難	危険な場所から高齢者・障がい者・乳幼児などは避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	自らの避難行動を確認
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意報(気象庁)	災害への心構えを高める

5 すでに安全な避難ができず命が危険な状況。警戒レベル5の発令を待ってはいけません。

4 警戒レベル4で危険な場所から全員避難しましょう。

3 高齢者や障がいのある人、乳幼児などは警戒レベル3で、危険な場所から避難しましょう。